保育園自己評価表

令和７年度

山田保育園

【評価】 A：大変良い　B：良い　C：一部検討を要する　D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
保育理念・目標	保育理念・目標について理解し、職員会議や研修等で説明ができる。	☑	□	□	□	
保育理念・目標	保育所保育指針と保育理念・保育目標の関係を理解し、保育課程を作成している。	□	☑	□	□	
保育理念・目標	保育の目標を達成するためのねらいと指導計画の関係を理解している。	□	☑	□	□	
保育理念・目標	保育理念・目標は全職員で検討し、共通理解を図っている。	□	☑	□	□	
保育	指導計画は乳幼児の実態に即して作成している。	□	☑	□	□	
保育	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	□	☑	□	□	
保育	環境の構成を意識した保育を常に工夫している。	□	☑	□	□	
保育	素材・用具を適切に活用している。	□	☑	□	□	
保育	評価結果を基に、保育の改善に努めている。	□	☑	□	□	
日程	一日の流れ（デイリープログラム等）は適切である。	☑	□	□	□	
行事	行事の種類や実施回数は適切である。	☑	□	□	□	
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	☑	□	□	□	
行事	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	□	☑	□	□	
行事	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	□	☑	□	□	
行事	保護者の意見や願いを取り入れている。	□	☑	□	□	
食育	食育の計画を作成し、より良い食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めている。	☑	□	□	□	
食育	クッキング等を通して、乳幼児が食物に関心を持てるよう努めている。	☑	□	□	□	

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
分掌体制	職務内容が明確で、協働できる体制になっている。	☑	□	□	□	
分掌体制	職員の配置は適材・適所になっている。	☑	□	□	□	
分掌体制	係や仕事の分担・割り当ては適切である。	☑	□	□	□	
運営	各種会議を適切かつ効率的に進めている。	☑	□	□	□	
運営	職員相互が立場を理解し、協力や助言を行い施設運営に関わっている。	□	☑	□	□	
運営	打ち合わせ回数、時間、内容は適切である。	□	☑	□	□	
年齢別・クラス運営	クラス目標は全体的な計画や保育目標に基づいている。	☑	□	□	□	
年齢別・クラス運営	クラス目標は乳幼児の実態に即して設定している。	☑	□	□	□	
年齢別・クラス運営	同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っている。	□	☑	□	□	

年齢別・クラス運営	意義や趣旨を理解したチーム保育を行っている。	□	☑	□	□	
年齢別・クラス運営	評価、資料（諸記録）を集積している。	□	☑	□	□	
保健・安全指導	子ども一人ひとりと集団全体の健康及び安全の確保に努めている。	☑	□	□	□	
保健・安全指導	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて実施している。	☑	□	□	□	
保健・安全指導	健康・安全な生活習慣の育成に向け、家庭への啓発を行っている。	☑	□	□	□	
保健・安全指導	家庭・地域社会・関係機関等と連携し、子どもの安全確保に努めている。	☑	□	□	□	
園内研究・研修	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	☑	□	□	□	
園内研究・研修	園内研修を通して保育の質の向上に努めている。	☑	□	□	□	
園外研修	外部研修の情報提供や参加、研修内容の共有を行っている。	☑	□	□	□	
施設・整備	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。	☑	□	□	□	
施設・整備	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管している。	☑	□	□	□	
施設・整備	不審者等に対応するための配慮を行っている。	□	☑	□	□	
施設・整備	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	☑	□	□	□	
家庭・地域・子育て支援	保護者参観日等を設定している。	☑	□	□	□	
家庭・地域・子育て支援	地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れる取組がある。	□	☑	□	□	
家庭・地域・子育て支援	園庭開放や保育の相談等に取り組んでいる。	□	☑	□	□	
情報発信	園便り、クラス便り、ホームページ等で施設の情報を発信している。	☑	□	□	□	
外部評価	第三者評価を導入し、施設運営に反映している。	□	□	□	☑	

《保育園評価・総括》

全体的に出来ているが、努力するところもある。

※ 参考資料の評価項目をもとに、山田保育園用の記入様式として作成しています。評価欄・意見欄は記入用に空欄です。